

Q 1 総合型地域スポーツクラブに関わったきっかけは？

澤田 平成12年度に大洲商工会議所青年部で「スポーツを通じた町づくり」を考える委員会を立ち上げ、そこで委員長を務めました。その後、地域スポーツとの関係強化を重点に活動をし、この活動をより具体的な形として行うための母体を創りたいと考えようになり、行き着いたのが総合型地域スポーツクラブでした。



澤田 典康 事務局長

Q 2 運営にあたって一番の喜びは何ですか？

澤田 準備委員会を立ち上げた時には不安ばかりでしたが、仲間の協力で、一つ一つ形になっていくとき喜びを感じるようになりました。ただ「一番の喜びは？」と問われると、運営委員、指導者と会員の皆さんがクラブ活動を通して見せてくれる笑顔です。この笑顔の輪をもっともっと広げていきたいと思っています。(微笑)



キッズスポーツ教室の様子です

Q 3 運営にあたって一番の苦勞は何ですか？

澤田 クラブが運営出来ていること自体が幸せですので苦勞というのもおかしいのですが、運営委員、指導者ともそれぞれ仕事を持った上での活動ですので、少し予定が重なると余裕がなくなるのが問題だと感じています。

Q 4 このクラブのPRをお願いします。

澤田 2009年の3月に設立したクラブで会員数80名・指導者12名・運営委員数名の小さなクラブですが、立ち上げ母体となった商工会議所活動の経験を活かし、地域スタンプへの加盟、大手スーパーさんと連携するなど、工夫しながら運営しています。また、指導歴のない若い指導者を積極的に勧誘し、経験豊富な指導者を軸にしながらも、次の指導者、運営者を育てようと奮闘しています。



フットサル教室の様子です

Q 5 将来は、どんなクラブにしていきたいですか？

澤田 今後4年間を目途にスクールの拡大、指導員・クラブ会員の増員、そして何より運営組織と財政基盤の強化を進めていきたいと思っています。そのためにも市行政と協力関係を構築し、充実させる中で専属の運営委員兼指導者を雇用したいと考えています。ただこれらは、おおずスポーツクラブの発展であって、大洲市の活性化とは、また問題が違うと考えています。今後も大洲市のスポーツ関係者の方々と共に活動し、大洲市の活性化に貢献できるようなクラブになれるよう、頑張っていきます。



ヨガ教室の様子です